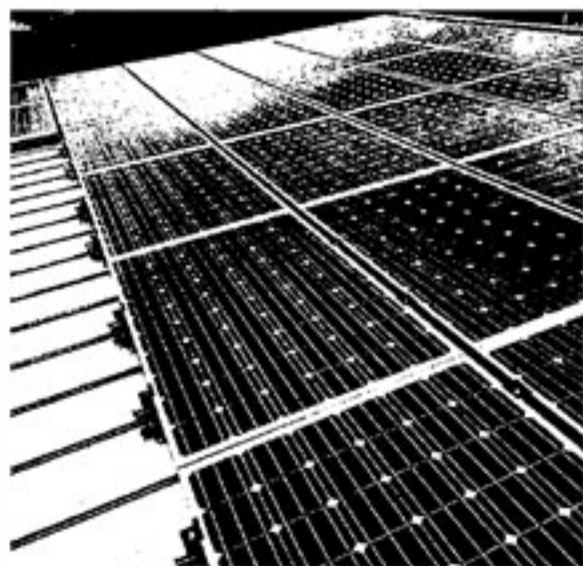


暮らしに関わる最新情報をマンスリーでお届けします

暮らしっく

太陽光発電に注力 PGSホーム

余剰電力 割高買い取り中



PGSホームのソーラーパネル

寿命の長い外壁塗装施工で知られ、太陽光発電にも力を入れているPGSホーム(大阪市東成区)が、電力小売りの全面自由化に合わせてお得な余剰電力買い取りサービスを開始した。同社の太陽光発電設備を設置

すると、電力固定価格買い取り制度で定められた価格より5円高く買い取り、電気料金も最大20%安くなるという。

新サービスは「PGSSN 1-5UPシステム」で、新電力会社「坊っちゃん電力」(松山市)への電力切り替えが条件。「実効変換効率20%というトップクラスの性能」(ソーラー事業部の浦木備和・販売総責任者)を持つソーラーパネルを使用する。パネルは277W用(164・277×99cm)と220W用(132・677×99cm)の2種類あり、屋根の広さや形状に応じて使い分ける。

電力の固定買い取り価格は、2009年の制度スタート時の1キロワット時48円から次第に値下げされ、現在は31円。今後さらに下がるとみられるが、「5UPシステム」を現時点で契約すると、36円の同一価格で10年買い取る。

また、太陽光パネルやパワーコンディショナー、接続

設備設置と特定の電力会社との契約条件

統箱など発電設備に関する重要な10項目について20年間、メーカーのメンテナンス専任者による毎年点検があるほか、経費の見直しなどで電気料金も安く抑えられるとしている。

同社は、15年保証の光触媒コーティング(スーパードクタープロテクト)と顧客目線に立った営業で業績を伸ばし、近畿では大阪市内と神戸、京都各支店など本社を含めて7店舗を展開する。

太陽光発電には2000年代初頭から取り組み、効率よく発電できる次世代型太陽電池の寿命を延ばす新しい電解質を、奈良先端科学技術大学院大学と共同で開発。実用化に向けて安定した量産技術の開発に取り組んでいる。

問い合わせはPGSホームソーラー事業部(06・8981・3914)または同社のホームページへ。